

6月度「京都学ラウンジ ミニ講座」(開催報告)

令和元年6月30日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度「京都府内の文化遺産―平成30年度指定・登録文化財について―」と題して、6月6日(木)～6月27日(木)にかけて4回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 日 時 令和元年6月6日・13日・20日・27日
いずれも木曜日 13:30～14:00
- 会 場 京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ
- 参加者数 39名(6日)、33名(13日)、29名(20日)、28名(27日)
合計129名
- 内 容
「京都府内の文化遺産―平成30年度指定・登録文化財について―」(全4回)
第1講 全体概要と無形文化財 (講師:文化財保護課 岸岡貴英、向田明弘)
第2講 建造物 (講師:文化財保護課 村瀬由紀史)
第3講 記念物・考古資料 (講師:文化財保護課 吹田直子)
第4講 美術工芸 (講師:文化財保護課 桑原正明)

■ 講座の様子

京都府では、府内各地に所在する有形・無形の様々な文化財について、指定・登録を行い、その保護に取り組んでいる。平成29年度には国内初の暫定登録文化財制度を創設し、1,000件を超える登録を行った。

今月のミニ講座では、文化財保護課の職員を講師に迎え、文化財保護制度の概要や平成30年度に指定・登録された代表的な文化財について解説した。多くの写真や詳細な図面を用いて、様々な文化財の特徴や調査で判明した新たな事柄についても言及があった。来場者からは、有形・無形の文化財の違いや指定・登録の基準についての質問も出され、文化財保護に関する理解を深める機会となった。

なお、ミニ講座に合わせて、京都学ラウンジでは6月1日から6月30日まで平成30年度指定・登録文化財を説明するパネル展示を開催し、また、2階京都資料総合閲覧室では京都府内の文化遺産関連の図書を展示した。いずれも来場者の好評を得た。



第1回



第2回



第3回



第4回